みどりの大敵

アメリカシロヒトリを防除しよう

アメリカシロヒトリは白い小さなガで、戦後アメリカから日本に入ってきた街路樹や果樹の害虫です。今年もすでに県南、那須地区に発生しています。さいわいにして現在日光市では発生をみていませんが、なお一層防除に心がけましょう。

▲シロヒトリとはどんな虫か

一、**成虫**……白色の美しいガで体の長さは10～22㎜はねを広げると22～36㎜くらいあり、中には前ばねに黒色の小斑点がある場合もあります。

二、**卵**……淡黄緑色で加害植物の裏に百粒から多いときには七百粒ぐらいかたまりの表面はうすい紙をあてたように白い毛でおおわれています。

三、**幼虫**……成長したものは体長が30㎜くらいになり、頭部および胴部の背面と腹面は黒く、側面は淡黄色で各関節にいぼ状の隆起があり、そのいぼから30本ほどの長い白毛が生えています。

四、**蛹**……体長15㎜くらいで光沢のある赤褐色を呈し、全体がまゆにつつまれています。

▲どんな樹木を食い荒らすか

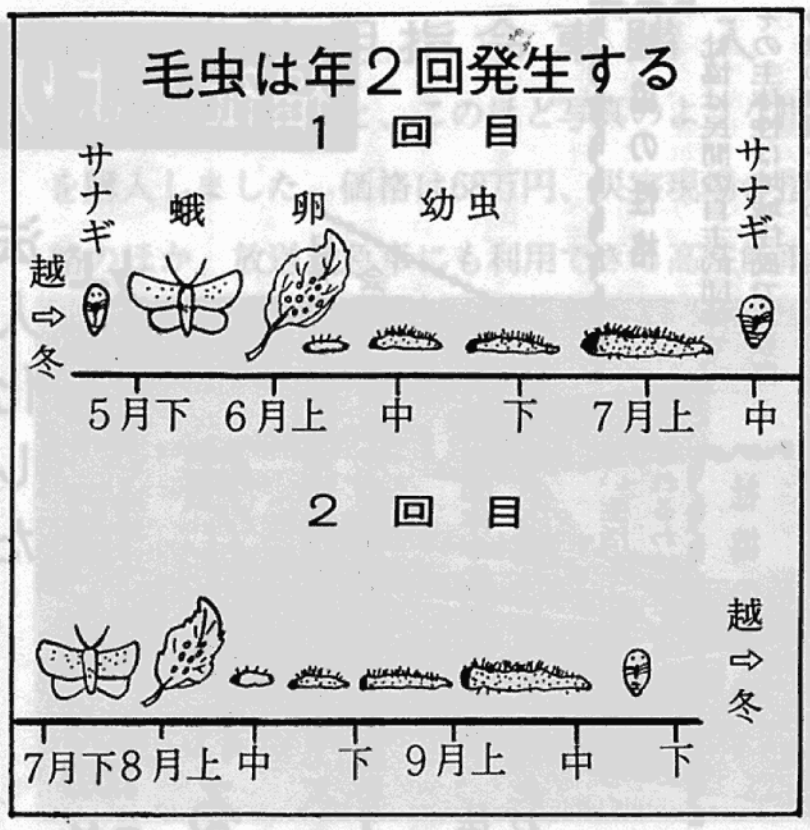
広葉樹であればそのほとんどを好みます。とくに街路樹のプラタナス、ヤナギ、サクラ果樹のカキ、ウメ、モモ、アンズに多くみられます。

▲防除の方法

巣の処分……幼虫が小さい時は糸をはき巣を作り、かたまって生活します。巣は七月ごろと八月の年二回です。早いうちに巣を切り取りふみつぶすか、焼きすてると手軽に防除できます。

薬剤散布……幼虫は、葉を食い荒らしながらだんだん大きくなり、三㎝くらいの毛虫になります。

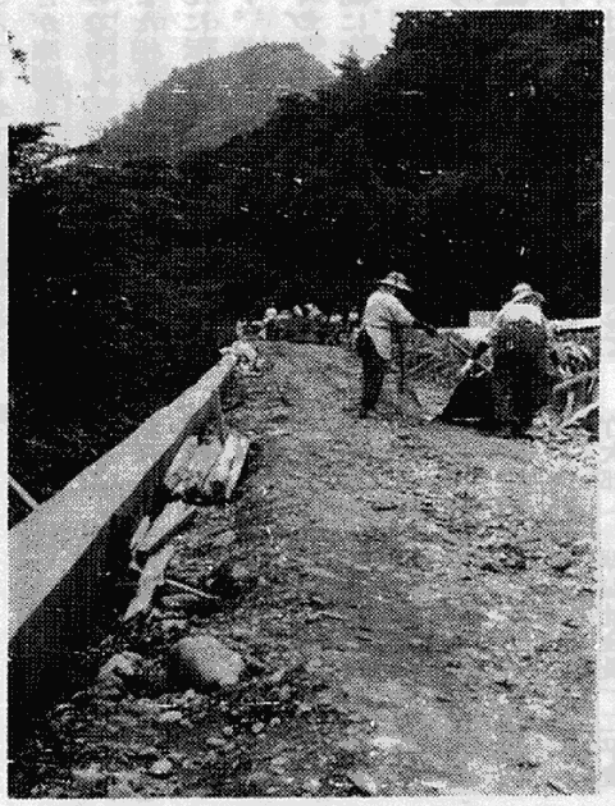
毛虫が散ってしまったり、高い木で巣の処分ができないときは、薬剤散布で防除します。使う薬は農業用のDEP剤（デイプテレックス）やDVP剤などの薬がよくききます



萩垣面地区 市道舗装はじまる

市道の舗装は、地区住民のみなさん方の要望、交通量その他を勘案して年次計画により行なっています。今年度は萩垣面を含めて七本の市道舗装を実施する予定です。

現在行っている萩垣面地区市道（日光小学校裏のつり橋から梅屋敷間）は、延長三一〇m、平均幅員五、一三m、工事費五六四万円で七月二十日完成の予定です。



処理能力の向上と安全無害を目ざして し尿処理場改良工事おわる

日光地区し尿消化組合（今市市、日光市、藤原町、栗山村で組織している）では、五年前にし尿処理場（今市市大谷向）を建設し、し尿処理事業を行っていますが、年々増える観光客と農業における化学肥料の使用により、その処理量は高まりつつあります。

このようなことから同組合では、し尿処理能力の向上と、安全無害を図るため、かねて改良工事を行なっていましたが、このほど完了しました。

工事の内容および財源は次のとおりです。

工事費は

一、投入槽の破砕機（ボロ、脱脂綿、ビニールなどを細かくする）改良工事費　二百九十七万円

二、消化槽のガス攪拌装置改良工事費　四百十八万円

三、井戸新設および水中ポンプ改良工事費　百九十万円

合計九百五万円

財源は

一、厚生年金保険積立還元融資　五百万円

二、一般財源　四百五万円

合計九百五万円

今月の納税

固定資産税

第２期

《7月31日限り》